

優秀講演発表賞は、“学術講演会の更なる活性化と発表水準の向上を図る”ことを目的に、2002 年春季大会より設置されました。受賞者数は講演発表数の 2% 以内とし、大会ごとに学術講演会運営委員会が大会参加者による評価をもとに受賞候補者を選定し、表彰委員会が決定いたします。今回は、下記 7 名の方々を受賞されました。授賞式は、2008 年春季大会期間中 5 月 22 日(木)にパシフィコ横浜にて開催されます。



革新的次世代低公害車総合技術開発—トータルエンジンシミュレーションシステムを用いた最適ディーゼルエンジンシステムの検討—

(講演番号：7)

島崎直基氏
株式会社いすゞ中央研究所 エンジン研究第一部



複数年連続大気シミュレーションによる汚染物質濃度変動要因の解析

(講演番号：215)

茶谷 聡氏
財団法人石油産業活性化センター JCAP 推進部・
株式会社豊田中央研究所 シンクタンク室



革新的次世代低公害車総合技術開発—GTL 燃料を用いたディーゼルエンジンの燃焼・排ガス特性—

(講演番号：10)

内田 登氏
日野自動車株式会社 技術研究所エンジン研究室



有限要素モデルによる側突乗員拘束装置モデルの開発

(講演番号：289)

福島 聡氏
トヨタ自動車株式会社
車両 CAE 部部付側突乗員傷害値グループ



車室内 VOC 低減技術の開発

(講演番号：188)

青木 修氏
株式会社本田技術研究所 四輪開発センター
(現：財団法人日本自動車研究所 審査登録センター審査部)



二輪車の運動特性とその評価指標に関する研究

(講演番号：336)

景山一郎氏
日本大学
生産工学部機械工学科



低中周波領域における車両用防音材の挙動解析

(講演番号：205)

小林憲正氏
トヨタ自動車株式会社
車両 CAE 部部付 NV 技術開発グループ